

令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	さとう たくや	
氏名	佐藤 拓也	
所属・役職	<p>YuMake 株式会社 代表取締役 CEO デジタル庁 デジタル推進員 一般社団法人コード・フォー・ジャパン フェロー 一般社団法人シビックテックジャパン 理事 CODE for IKOMA Founder NPO 法人琵琶故知新 監事</p>	
活動拠点	奈良県および関西一円	
略歴	<p>奈良県生駒市在住。東北大学大学院 理学研究科 地球物理学専攻（流体地球物理学）修了。</p> <p>システムインテグレーターにて、在庫管理システム・介護保険システム開発・運用に従事後、民間の気象会社にてシステムエンジニアをつとめる。その後独立し、YuMake 合同会社を設立。気象データ提供、データ分析、AI 活用、気象センサーの活用、気象予報士連携などを行う。その傍らで、地域コミュニティ「Code for Ikoma」を立ち上げ、オープンデータの活用や市民ワークショップ等を実施。</p> <p>2014 年 1 月 Code for Ikoma 設立。代表（～2022 年 3 月）。</p> <p>2015 年 3 月 YuMake 合同会社設立。代表社員。</p> <p>2017 年 12 月 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事就任。 （コード・フォー・ジャパン 総務省 地域情報化アドバイザー）</p> <p>2018 年 4 月 大阪市立大学 都市防災教育研究センター 特別研究員就任（～2022 年 3 月）。</p> <p>2019 年 4 月 総務省 地域情報化アドバイザー（現任）。</p> <p>2019 年 4 月 株式会社 地域計画建築研究所 ソーシャル・テクノロジーオフィサー就任（現任）。</p> <p>2019 年 5 月 一般社団法人シビックテックジャパン 理事就任（現任）。</p> <p>2019 年 12 月 一般社団法人コード・フォー・ジャパン アドバイザー</p> <p>2019 年 12 月 特定非営利法人 琵琶故知新 理事就任。</p> <p>2021 年 4 月 一般社団法人コード・フォー・ジャパン フェロー（現任）</p> <p>2022 年 4 月 奈良県生駒市 CDO 補佐官</p> <p>2022 年 12 月 特定非営利法人 琵琶故知新 監事就任（現任）。</p> <p>2023 年 5 月 YuMake 合同会社を組織変更し、YuMake 株式会社 代表取締役 CEO に就任（現任）。</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>オープンデータ整備、公開、活用 防災コミュニティづくり、防災における IT 活用 EBPM（データを活用した根拠を元にした政策立案） DX 研修（現場の課題に基づくアクティブラーニング型支援）</p>	

		<p>気象データ活用、気象センサー（IoT）活用、気象データ分析・AI 農業・防災・マーケティング・観光・スマートシティ等様々な業界における気象情報活用 アイデアソン・ハッカソン 企画運営</p>
専門分野		<p>オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 行政手続オンライン化 防災 スマートシティ その他</p>
自治体向けメッセージ		<p>自治体の情報政策担当として南国市地域情報通信基盤整備事業、自治体システム標準化、情報化計画の策定、実行にあたっての庁内調整、市民との連携などを試行錯誤しながら進めてきました。</p> <p>また、マイナンバー制度、マイナンバーカードの普及、利活用推進、自治体セキュリティ強靱化対策などに携わり、現在はこれまでの経験を生かし、高知県内の市町村の自治体DX推進支援を行っています。自治体職員の視点で課題解決のご支援をさせていただきたいと思います。</p>
関連サイト		<p>YuMake 株式会社 https://www.yumake.jp/ 一般社団法人コード・フォー・ジャパン https://www.code4japan.org/ 一般社団法人シビックテックジャパン https://www.civictech.jp/ Code for Ikoma https://www.code4ikoma.org/ 特定非営利法人 琵琶故知新 https://www.biwako.info/npo/ 大阪市立大学 都市防災教育研究センター https://www.cerd.osaka-cu.ac.jp/ 株式会社地域計画建築研究所 https://www.arpak.co.jp/ 過去の講演資料 https://speakerdeck.com/takuya310</p>
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミをいつ捨てれば良いか分かる 5374.jp の生駒市版を作成（平成 26 年 1 月） ・Iko mama papa アプリ開発提案プロジェクト（平成 26 年度、生駒市主催・Code for Ikoma 企画運営） 「子育て」をテーマにしたアプリのアイデア・試作品の開発のプロジェクトを企画運営・保育園の場所がすぐに分かる保育園マップの生駒市版を作成（平成 27 年 3 月） ・IKOMA Civic Tech Award 2016（平成 28 年度、生駒市主催・Code for Ikoma 企画運営）オープンデータの活用について知り・学ぶ「Civic Tech Party」と、アプリおよびアイデアのコンテスト「Civic Tech Award」の企画運営 ・アーバンデータチャレンジ奈良ブロック地域コーディネーター（平成 27 年度?） ・生駒市オープンデータポータルサイト構築支援（平成 28 年度） ・内閣官房国土強靱化推進室 近畿ワークショップ ファシリテーター（平成 29・30 年度） ・レジリ学園関西校 企画・運営（平成 30 年度?） <p>内閣官房・国土強靱化推進室のワークショップを経て設立。 ジャパン・レジリエンス・アワード 2019 優秀賞受賞。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術導入による中山間地域の特産品生産スマート化への展開 -高機能機械やIoTによる農作業の省力化・遠隔管理、AIによるデータ解析技術などを実装した近未来型柿生産体系の構築-（平成 31 年度?、スマート農業技術の開発・実証プロジェクト：農研機構） ・大阪府四條畷市のスマートシティの取り組みを推進する「日本一前向き！」コンソーシアムに YuMake 合同会社として参画 ・大阪府 DX 推進パートナーズに YuMake 合同会社として参画 ・福井県スマートエリア形成 FS（フィジビリティスタディ）

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県裾野市の SDCC（スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ）コンソーシアムに YuMake 合同会社として参画 ・ 佐賀県佐賀市の SAGA スマート街なかプロジェクトについて、気象データ活用・気象 IoT センサー構築の側面から支援 ・ 北海道 松前町の DX 推進計画の作成
<p>これまでの 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の献立がすぐに分かる「4919 for Ikoma」の横展開プロジェクト ・ 給食の献立データの推奨データ化に関する、データ運用検討分科会参加 ・ 生駒市図書館主催 WikipediaTown の実施支援 ・ 生駒市庁内向けデータ利活用研修（データアカデミー）の企画・実施支援 ・ 大阪府吹田市 シビックテック支援事業（平成 29 年度地域情報化アドバイザー） ・ 岡山県真庭市 デジタル観光に関する支援事業（平成 30 年度地域情報化アドバイザー） ・ 第 4 回地域 IoT デザインハブ@宇都宮 話題提供者 ・ ひょうご地域課題×エネルギー 実践スクール（持続可能地域づくりコース）講師 ・ 総合地球環境学研究所オープンサイエンスプロジェクト （オープンサイエンスと社会協働の融合に基づく琵琶湖流域圏水草資源活用コミュニティーの形成 関連） ・ 経産省 DX ワークショップ テーブルファシリテーター ・ オープンデータリーダー育成研修、オープンデータ化支援研修 講師 奈良県・兵庫県・福岡県・鹿児島県（各県下基礎自治体含む） ・ DX 研修 サブ講師、DX プロジェクトマネジメント（神奈川県藤沢市） ・ データアカデミー メイン講師（大阪府枚方市・兵庫県など）